

蕨 広報WARABI 1

2014/平成26年
わらび・751

- 平成26年1月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 12月1日現在人口：72,222人 前月比 -22人
男 36,709人 女 35,513人
世帯数：35,695
人口密度：14,161人/km²



おいしくなれとぺったんこ 園児たちが笑顔のお餅つき

「よいしょっ!」と、大きな声と笑顔のあふれるみどり保育園で、12月13日、毎年恒例のお餅つきが行われました。みんなでついたお餅は合計7觔。参加した95人の園児は、しょうゆやきな粉で味付けされたお餅をおいしくいただいて、まん丸ほっぺを緩めていました。

～今月の特集～

- 新春座談会
- 羽ばたけ新成人

わ
WARABI



平成26年 新春座談会

平成26年。新しい年を迎えました。そこで2ページから5ページまでの特集・新春座談会では、よりたかひでお頼高英雄ひきこうじ市長、まちあせい比企孝司ひきこうじ市長、まちあせい市長出身でフリーアナウンサーの町亜聖さんの3人が昨年来年を振り返りながら、今年1年の市政や今後のまちづくりをどう進めていくのか、また、市の魅力などを大いに語り合いました。



蕨の魅力や今後のまちづくりについて語り合う3人(歴史民俗資料館分館)

更に住みよいまちを目指し マニフェストを着実に推進

一同 新年明けましておめでとうございます。

市長 町さんは昨年、下蔵公民館で自身の介護体験に関する講演を行ってくださいましたね。お忙しいなかありがとうございます。議長 私もケーブルテレビで拝見しました。すばらしかったです。町 近所だった人も多くいて、生

放送のテレビよりも緊張しましたが皆さん温かく迎えてくれました。

市長 町さんの著書『十年介護』は、大きな反響を呼んでいますね。

更に昨年は、テレビやラジオなどでもご活躍されていました。

町 アナウンサーとしてさまざまな仕事をさせていただくとともに、シンポジウムでの司会などを通して、医療や介護の啓発に携わることができ、とても充実した年でした。お二人はどんな年でしたか。

議長 議会基本条例の制定に向けた取り組みを進められたと同時に、

より開かれた議会を目指し、議会改革推進特別委員会で調査、研究を着実に実施することができた年でした。また、個人的には一昨年、50周年を迎えた子ども会の活動を精力的に行うことができました。

町 私も小学生の頃、ソフトボールチームに入っていました。年齢が違いう子と仲間づくりができる子ども会が活発なのはいいことですね。市長さんはどんな年でしたか。

市長 昨年も、皆さんとお約束したマニフェストを着実に進めることができました。特に防災対策に最重点を置き、5つの学校体育館で耐震化と大規模改修を行い、今年3月には学校耐震化率が100%になります。また、新たに栃木県大田原市と災害時相互応援協定

平成25年 市政ベスト10

1	「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの核となる蕨市将来構想を策定	12月
2	小・中学校体育館耐震化及び大規模改修を実施、25年度末には学校耐震化率100%へ	5月
3	学校施設に続き、保育園と公民館の耐震化促進	1月
4	わらび学校土曜塾を開講	4月
5	蕨駅開業120周年の各種記念事業を実施	4月
6	定員105人の認可保育園アートチャイルドケア蕨が開園	4月
7	栃木県大田原市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結	12月
8	わらび健康アップ計画を策定	3月
9	地区計画による新たなまちづくりに向け、中央第一地区に関する都市計画を決定	10月
10	蕨市市民参画と協働を推進する条例を施行し、協働事業提案制度を開始	4月

を結ぶことができました。

町 それは心強いですね。体育館の改修では、床の張り替えやトイレの洋式化も行ったそうですね。

市長 学校体育館は災害時には、地域の避難所にもなるため、どなたでも利用しやすくなりました。

町 万一に備え、安心感が広がりますね。また、高齢者や障害者など災害弱者と呼ばれる人たちを守るしくみづくりも重要です。

議長 災害時には地域の助け合いが欠かせないので、日頃から隣近所と顔の見える関係を作っておくことがたいせつです。

市長 災害弱者の皆さんをいかに守るかは、どの自治体でも大きな課題です。蕨ではモデル地区を定め、町会や民生委員のご協力の下、

取り組みを進めています。また、中学生も地域の一員として力になれるよう訓練に参加しています。

議長 各町会の自主防災会も熱心に訓練を行っていますね。

町 コミュニティが豊かな蕨の特徴を生かせそうですね。他にはどんな事業を進められたのですか。

市長 学校施設に続き、保育園と公民館の耐震化の促進や小学3年生以上を対象にした学校土曜塾を開講したほか、錦町に定員105人の民間認可保育園が開園しました。また、蕨駅開業120周年では、多くの催しを市民の皆さんと一体となつて行うことができました。町 学校土曜塾は地域の人や大学生がサポートしてくれるので、世代間交流も深まりそうですね。

みんなで創る 住みやすさ日本一のまち・蕨



よりたか ひで お
蕨市長 頼高 英雄
北町在住・50歳

皆さんと協働で更に魅力あるまちづくりを進めます

まちを愛する市民の思いが 蕨の更なる発展の原動力に

市長 日本テレビ時代の町さんのプロフィールは、「蕨市出身」としてくれていたそうですね。

町 母が倒れた場所であり、また、アナウンサーとしてのスタートを切った蕨は、まさに私の原点であるさだと思っています。

議長 うれしいことです。印象に残っている場所がありますか。

町 母の車椅子を押して、南町の桜並木や、機まつりに出かけたり、買い物に行ったりと思い出がたくさん。実は最近まで蕨駅をよく利用していたんです。蕨は都心に近く便利で住みやすいですね。

市長 はい。蕨は利便性の高さと歴史や文化、コミュニティの豊かさ、その両面をあわせ持っているまちです。これが、日本一コンパクトなまち蕨の特徴であり、最大の魅力なんです。

町 コンパクトで、そうした特徴があるから、人と人との触れ合いも多く一体感があるんですね。

議長 そうですね。地域の課題も市民と行政が協力し合い解決しています。皆さんの手で合宿通学や放課後子ども教室などが全地区で続いているのは誇れることです。

市長 そうした市民の皆さんの活動に加えて、町さんのような著名な方もふるさと蕨をたいせつにしてくれています。先月、くるるで上演された舞台「わけあり時計店」は脚本家の池端俊策さんが1年間にわたって講座を開き、脚本も書いてくださいました。実はそのきっかけが、以前の新春座談会で話したことだったんです。

町 それはすごい。皆さん、蕨にとっても愛着があるんですね。これもコミュニティが豊かな環境から育まれているのでしょうかね。

市長 直近の市民意識調査では、「まちへの愛着度」がここ5年で最も高い72.1%となっています。

議長 うれしいことです。

市長 そうした思いがまちを更に発展させていく原動力になります。



緑豊かな歴史民俗資料館分館の庭園にて

「コンパクトシティ蕨」将来 ビジョンで進むまちづくり

市長 ところで、町さんの本や講演の内容から、たいへんなご苦労があつたんだろうなと思いますが、とても前向きですね。

町 母と過ごして、学んだことや気づいたことがたくさんあります。そうした経験から、誰もが住み慣れた地域で普通に暮らせる社会を作りたいというのが私の願いです。議長 私自身も身内の介護の経験があるので、お気持ちをお察します。

蕨の魅力・未来のまちづくりを語る

市長 そのためには、医療、介護の体制を整えるのはもちろん、地域全体での健康づくりも必要になってきます。蕨では健康長寿サポーターを養成したり、外出機会を増やそうと75歳以上のぷらっとわらびの無料化を実施しているほか、介護をしている人たちをサポートする市民活動団体もあります。

議長 まず、私たち一人ひとりが当事者意識を持ち、コミュニティ豊かな蕨ならではの強みを生かしながら、地域ぐるみで健康づくりに取り組むことがたいせつですね。
市長 昨年には健康づくりの指針となる、わらび健康アップ計画を策定しました。引き続き、市民の皆さんと取り組みを進めていきます。

町 私も今年1年、自分の活動を通じて、医療や介護に無関心な人たちが「もしも自分だったら」と考えるようなきっかけを更に作っていきたいです。また、アナウンサーの仕事の一つひとつたいせつにしていきながら、蕨を含め、もっと地元を目を向けた活動をしていきたいです。お二人はいかがですか。

議長 議会は全市民の福祉の向上と地域発展のためにありますので、更なる議会改革の徹底や災害時の議会の在り方など、全議員と取り組んでいきたいと考えています。

町 それは頼もしいですね。市長さんはいかがですか。

市長 今年4月からは「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンがスタ

今年はもっと地元を向けていきたいです



Profile

まち あせい
町 亞聖さん

42歳。第一中学校卒。日本テレビでアナウンサーとして活躍。その後報道記者などを経て、フリーへ転身。両親の介護生活をつづった『十年介護』（小学館文庫）は大きな反響を呼ぶ。現在、TOKYO MXなどの番組でMCを務めるとともに、自身の経験から医療・介護をテーマに取材を続ける

より開かれた議会を目指し取り組みを進めます



ひき こうじ
蕨市議会議長 比企 孝司
塚越在住・61歳

ートします。これは市の最上位計画に当たり、今後10年間の市政運営の基本指針となるものです。その核となる蕨市将来構想では、まちづくりの理念を「みんなで未来の蕨を創る」とし、まちの将来像として「安心とにぎわい みんなにわたる日本一のコンパクトシティ蕨」を掲げ、皆さんと日本一の住みやすいまちを目指して、取り組みを進めていきます。

町 新たなビジョンに基づくまちづくりが始まるというわけですね。
市長 はい。新ビジョン実現に向けて、「安全で安心できるまち」、「にぎわいあふれる元気なまち」、「みんなにわたる元気がまち」の3つの基本方向

でまちづくりを進めます。具体的には、引き続き、保育園や公民館の耐震化を進めるほか、市有地を活用しての障害者グループホームや認可保育園の整備、民間との協働による特別養護老人ホームの整備は、27年4月の開設に向けて、事業が本格的に進む年となります。今年も、ふるさと蕨の更なる発展に向けて、全力を尽くします。

町 ぜひ、がんばってください。介護の話題のときにも出ましたが、まちづくりは自分たちでという当事者意識がたいせつですね。
議長 そのとおりです。町さんも更なるご活躍を期待しています。一同 今年1年、皆さんにとって、よい1年でありますように。

夢と希望を胸に 羽ばたけ新成人



新成人の皆さん、おめでとうございます。今年で68回目を迎える、蕨の成年式は、終戦の翌年、全国に先駆けて行われた伝統ある催しです。6、7ページでは、その由来や当時の様子、今年の実行委員の皆さんの役割、式典の内容などについてご紹介します。

青年たちに明日への光を

蕨で初めて成年式が開催されたのは、終戦の翌年、昭和21年のことでした。当時の日本は敗戦の虚脱感に包まれ、国民はその日を生きることに関心がいっぱいで、若者も明日への希望を見いだせずにいました。そうしたなか、「次代を背負う青年たちが希望を持ち、未来に向かって力強く歩みを進めてほしい」と、戦後いち早く発足した蕨町青年団が中心となり、「青年祭」を立案。その催しの一つとして企画されたのが「成年式」でした。

その年の11月22日から3日間、蕨第一国民学校（現・北小学校）で開催された青年祭には、国民服やもんぺ姿の若者約100人が来場。町長や来賓の激励を受け、出席者も誓いの言葉で応えました。また、式典後には、芸能大会や文化展覧会などの催しが開かれたほか、甘酒などもふるまわれ青年たちに喜ばれました。娯楽や物資がたいへん乏しかった時代に、団員たちの熱意と創意工夫が詰まった町の一大イベントを通して、青年たちの暗く沈んだ心に再び明

かりがともり始めたのです。蕨の青年たちの手によって生まれた成年式。その意義が評価され、2年後の昭和23年には、国民の祝日として「成人の日」が制定されました。現在は、一般的に「成人式」の名称で全国的に広まっていますが、蕨市では今も「成年式」の名を残して、新成人の門出をお祝いしています。そこには、全国に先駆けて式典を開催した伝統と、当時の青年たちの思いをこの先も引き継いでいってほしいという願いがこめられています。

◀昭和21年11月22日、蕨第一国民学校（現・北小学校）前で撮影

▼「成年式発祥の地記念像」は記念撮影のスポットに（城址公園）



成年式発祥の地・蕨から

今月13日、市民会館で開催される「第68回成年式」では、718人（昨年12月20日現在の新成人の皆さんが、大人への仲間入りを果たします。

式典は、今年も市内3校の中学校を卒業した新成人を代表して、13人の成年式実行委員が企画・運営を担当します。皆さん、人生に一度しかないその日を、思い出に残るものにとしようと、昨年10月から話

し合いを重ねてきました。

式典では、新成人としての決意や抱負を披露する「青年の主張」や「20歳の誓い」を実行委員が発表するほか、蕨男声合唱団の皆さんとともに「蕨市歌」を合唱します。更に蕨フィルハーモニックウインズの演奏がお祝いの席をいつそう華やかに彩ります。また、中学校時代の恩師からの激励の言葉もいただく予定です。式典の終了後には、蕨市青少年団体の皆さんによる「20

歳のつどい」が市民会館と公民館で開かれます。福引きのほか、お茶会なども行われまので、旧友たちと思い出話に花を咲かせながら、楽しい時間が過ごせるでしょう。20歳は人生の節目であり、一つの通過点でもあります。自由と責任を自覚し、夢と希望を持って、「成年式発祥の地・蕨」から新たな一歩を踏み出してください。

未来に向かって大きく羽ばたけ、蕨の新成人たち！

「自分たちの色を出した式典に」と意気込む実行委員の皆さん



— 成年式実行委員の氏名と役割 —

実行委員長／井芹勇人さん

副実行委員長／野中美里さん・廣川茜さん

司会／井上慎弥さん・平澤千安希さん

青年の主張／廣川修平さん・芳賀詩織さん

20歳の誓い／永澤巧さん・佐野美音さん・黒田浩美さん

会場係／岩元一樹さん・小泉圭徳さん・榎本茉莉子さん

案内状のない人は連絡を

「成年式のご案内」が届いていない人や、蕨市出身で市外在住の出席希望者は、市役所3階生涯学習スポーツ課（☎433-7729）へご連絡ください。

～実行委員のお二人に お話を伺いました～



— 実行委員長 —
井芹 勇人さん

Q 今年はどうな式典に？

井芹 全国に先駆けて行われた蕨市の成年式。先輩たちの思いをしっかりと引き継ぎ、伝統に恥じない式典にしたいです。

廣川 当日は、懐かしい友人たちと再会できる貴重な機会です。みんな楽しんで、いつまでも記憶に残る式典にしたいですね。

Q 実行委員会の雰囲気は？

廣川 初めての顔合わせの時は、向かう電車の中から早くも緊張していました（笑）。でも、会議を重ねるうちに団結も深まり、チームワークも抜群ですよ。

井芹 個性豊かな仲間が集まっているので、会議では毎回、活発な意見が出ます。式典では、私たちの色を発揮したいですね。今から本番が楽しみです。



— 副実行委員長 —
廣川 茜さん

Q 20歳を迎えて思うこと？

廣川 実感は湧きませんが今まで成長してこられたのは、両親や恩師など、多くの支えがあったから。感謝の気持ちを忘れず自立した大人になりたいです。

井芹 行動に制約がなくなる分、自分のすることに責任を持たなければならぬと思います。また、今後は、これまでお世話になった人たちの期待に応えられるよう自分を磨いていきたいです。

Q 将来については？

廣川 大学では、土木工学を専攻しているので、インフラ整備に興味があります。生まれ育ってきた地域に貢献できる公務員になることが今の目標です。

井芹 まだ模索中ですが、海外旅行などの経験から、人との出会いに魅力を感じるようになりました。広い視野を持ち、多くのことに挑戦していきたいです。



リハーサルを行う実行委員の皆さん（12月12日）

火の用心



Q & A

リポート そこが知りたい

<96>

万全ですか？全てを奪う火災への備え

冬は空気が乾燥していて火災が発生しやすい季節です。また全国的に、放火やその疑いによる火災が増えています。そこで今月は、市内の現状や火災防止への取り組みについて、消防本部予防課の鶴巢優子課長補佐に話を聞きましたので紹介します。



消防本部予防課
鶴巢 優子 課長補佐

Q

放火による火災防止についてどんな対策を取っていますか。

A

定期的に消防署と消防団で、消防車両による注意喚起を行っています。しかし、放火やその疑いのある火災が多発していることから、こうした警戒活動を更に強化しています。

Q

このほか、各自主防災会による防犯パトロールや啓発用のちらしの配布などによって、注意を呼びかけています。

Q

各自でできる放火による火災防止の対策はありますか。

市内での火災発生状況と、その原因について教えてください。

A

ここ3年間の発生件数はほぼ横ばいですが、最近「放火・放火の疑い」による火災の割合が増加しています。

Q

平成23年は29件のうち10件、24年は31件のうち11件といずれも4割以下でしたが、25年は26件のうち15件(12月23日現在)と約58%となっています。

A

一人ひとりが危機意識を持って、放火されない環境をつくるのが第一です。最近発生している放火の特徴としては、ごみ集積所や公園、路上で紙くずや新聞紙などのごみ類に火をつけていられる火災が多くなっています。そこで「燃えやすい物を放置しない」「夜間にごみを放置しない」「ごみは指定された場所、日時以外は搬出し

Q

冬は火災が多い季節だといわれていますが、どのような点に注意すればいいですか。

A

市内の火災件数について、季節による差はほとんどありませんが、空気が乾燥していること、暖房器具の使用が増加することなどから、冬は火災が発生しやすい季節だと考えられます。



警戒活動の頻度を増やして、火災への注意を呼びかける消防団の皆さん(写真は第5分団)

なお、石油ストーブを使う前には必ず点検整備を行ってください。また、カーテンや衣類など、燃えやすい物の近くにストーブを置かないように気をつけましょう。

Q

火災に備えて、自宅で準備しておくべきことはありますか。

A

いざというときのために消火器を用意すること、火を拡大させないために寝具やカーテンといった身の回りの物を防災品にすることなどを勧めしています。

また、火災の発生をすぐに察知し、危険を知らせてくれる住宅用火災警報器は、全ての住宅に設置が義務付けられています。原則、設置箇所は寝室と寝室のある階段です。

ホームセンターなどで購入できますので、まだ備えていない住宅には必ず設置してください。火災がなく安心して暮らせるまちづくりには、地域ぐるみでの防火意識の向上が欠かせません。ご協力をお願いします。

問い合わせ〓消防本部 予防課(☎44・0174)

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

〔見に来ませんか〕

子どもミュージカルラビコ

新春公演「夏の夜の夢」19日

①午後1時 ②午後3時半

東公民館 無料(入場券・446・1605)

〔仲間になりませんか〕

茨城北町サッカースポーツ少年団

土・日曜日・祝日 北小学校

月1500円・2000円(未就学児は年間1000円)

年中・小学生(小泉・090・4948・5936)

楊名時(太極拳) 土曜日

午後2時半 茨城駅東口駅前

ラ・セーヌビル 月4500円

浦島・224・5915

土曜ダンス教室 月2回土曜日

午後1時 中央公民館

月2200円 初心者歓迎

迎(原・444・5754)

児童合唱団「野うさぎ」土曜日

午後4時15分 南公民館

月3500円 幼児・小学生(近藤・441・5659)

太極拳圓松会 月曜日 午前9時半

文化ホールくるる 月2000円(石井・080・1353・7936)

ABCキッズ(幼児英会話)

月3回水曜日 午前10時 北町公民館

か旭町公民館 月2300円

未就学児(田中・447・1839)



アンドレス・
タマリ・エランさん

キューバ
南町1丁目・44歳

この まちに 暮らして

ま・ち・の・話・題

建築家のアンドレスさんは、キューバの首都・ハバナから昨年10月に来日し、妻・正子さんとその家族と暮らしています。来日前には、日本のテレビ番組の現地ガイドとしてハバナを紹介したこともあるほどの親日家です。日本語や文化にもっと

触れたいと、市内各地の日本語ボランティア教室や「みんなの広場」に参加するなど、積極的に学びや交流を深めているアンドレスさん。「知識や技術を生かして、いつか蔵に自分が設計した住宅を建てたいですね」と、将来について話してくれました。

この数な～に 9本

皆さんにとって身近な蔵市役所が、映画やテレビドラマのロケ地としてお茶の間に登場していることをご存じですか。レトロな雰囲気が漂う庁舎が好評で、主に警察署に見立てて撮影が行われ、直近3年間の撮影件数は**9本**。これは撮影支援により、まちの魅力を市内外にPRしていくためのサービスの一環です。市内には庁舎以外にも中山道の街並みなどのロケ地があり、今後撮影依頼にそえる環境づくりに取り組みながら、関係機関との連携を深め、更なる蔵の魅力発信に努めていきます。

地域で朗読楽しむ催し



蒸しパンを食べながら朗読や演奏を鑑賞する「むしばんコンサート」。26回目となる今年も12月1日、東公民館で開かれ、300人が楽しいひとときを過ごしました。主催の朗読ボランティアサークル「山びこ」はこうした長年の活動が評価され、今年度、県の文化ともしび賞を受賞。

講習で高める防災意識



12月1日、中央公民館で「いざ!という時のための体験型セミナー」が開かれました。この催しは地域の防災力を更に高めようと、市民活動を支援するわらび市民ネットワークの皆さんが主催。参加者52人は、DIG訓練や避難所運営訓練などを通じ、防災の意識を高めました。

笑顔いっぱいの保育展



12月7日、みどり保育園で「保育展」が開かれ、350人が参加しました。園児122人による工作や絵の作品展示のほか、ミニシアターやお父さんたちによる焼きイモと催しは盛りだくさん。保護者の皆さんは、作品を通じて子どもたちの成長を感じ頬を緩めていました。

交流で深める国際理解



地域の外国人と市民の交流会「みんなの広場」が12月15日、中央公民館で開かれました。音楽をテーマに各国の歌や踊りを披露したほか、元NHK歌のお姉さん、稲村なおこさんも登場し、催しは大盛況。9か国、130人の皆さんは国籍を越えた交流を楽しんでいました。

光り輝くまちの玄関口



蔵駅開業120周年記念事業の最後を飾る「蔵駅西口イルミネーション点灯式」が12月17日、蔵駅西口前で開かれました。今回はケヤキの木に加え、同事業実行委員会により駅舎も鮮やかに装飾。式典は第二中学校吹奏楽部の生演奏もあり、幻想的な雰囲気に包まれました。

- ▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料/井上・☎442・0259
- ▼南健康吹矢クラブ 月2回 水曜日 午前10時 南公民館 月1500円 年1回大会あり/八土谷・☎442・4369
- ▼卓球サークル 月曜日 午前11時 市民体育館 ほか 月300円/春原・☎432・6035
- 〔参加しませんか〕
- ▼健康講座「認知症ってなに」 2月20日 午後1時 市民会館 300円/平田・☎090・3131・9399
- ▼日帰り旅倶楽部 大正浪漫を訪ねる旅 桐生 3月8日 1000円 説明会あり/岩本・☎090・3431・4295
- ▼ダンスパーティー 4日・23日・30日 午後1時 文化ホール くるる 499円/犬塚・☎441・7373
- ▼蔵子ども科学教室 2月1日 午前10時 旭町公民館 サイエンスカフェ「科学を知る、感じる、考える、行動する」 無料 中学生以上/同館・☎432・4053
- ▼蔵中東カンフークラブ 18日・25日 午前11時 市民体育館 親子でカンフーを始めてみませんか 1回1000円 親子(5歳以上)/高橋・☎080・6690・2121
- 〔ご相談ください〕
- ▼蔵断酒会(酒害相談) 7日 中央公民館 15日 南公民館 23日 旭町公民館 午後7時/岡田・☎441・3172

子どもたちの 健やかな成長支える 学校給食

おいしくて栄養たっぷりの学校給食。子どもたちの健やかな成長を支えています。今月24日から30日までの「全国学校給食週間」は、その意義や役割について理解を深める期間です。この機会に家庭でも給食や食についてあらためて考えてみませんか。

親と子の ニュースの 小窓



適切な管理の下、おいしい給食を提供する学校給食センター

子どもの発案でより親しみある献立に

ワラビ 給食の献立予定表を置いておくね。

お母さん 「野菜たっぷりすいとん」だなんて、おもしろいメニューね。

ワラビ うん。6年生のお姉さんが考えたメニューなんだよ。ところで、すいとんってなあに？

お母さん 小麦粉を団子のようにして汁で煮込んだ料理よ。物が少なかった戦争中には、お米の代わりに食べていたそうよ。

ワラビ へえ。給食に興味が出てきたよ。

お母さん それなら学校給食センターで、お話を聞いてみましょうか。

ワラビ こんにちは。給食にすいとんが出るんですね。楽しみです！

児童・生徒の食を通じた教育にも一役

職員 たくさん応募のうち、学校給食に適しているものを、今月24日から30日までの「全国学校給食週間」などに合わせて献立に取り入れました。ワラビ その一つがすい

職員 いつも給食を楽しみにしてくれているのね。ワラビ 学校で好きな時間の一つだからね。

職員 すいとんを献立に入れたのは、ワラビちゃんみたい、みんなに給食に興味を持ってほしいからなんですよ。

お母さん 訪問栄養指導など、さまざまな観点から子どもたちの食育について取り組んでくださっています。この献立もその一環ですか？

職員 はい。今年度、市内の公立小・中学校の皆さんから、献立のアイデアを募集しました。

お母さん 自分が参加することによって、食への関心も高まりそうですね。

とんだね。

お母さん 野菜たっぷりだから、栄養も満点ね。

職員 毎日、安全で栄養バランスのよい給食4700食分を作って、全小・中学校に配送するのはも



給食の時間には教室いっぱいに笑顔が広がります(北小学校)

ちろんですが、子どもたちには食のたいせつさも伝えたいですね。
お母さん ワラビは、学校で栄養士さんのお話を聞いてから朝食を欠かさず食べるようになったわ。
ワラビ 朝ごはんがたいせつだって分かったんだ。市内の農家の人が、野菜の育て方や苦労話を教えてくれたこともあったよ。
職員 ぜひ家庭でも、正

しい食習慣や家族がいつしよに食事をするののたいせつさなどについて、考えてみてくださーいね。
お母さん 分かりました。ワラビ お話を聞いて更に給食が好きになったよ。
お母さん じゃあ、これからは、ちゃんとピーマンも食べられるわね。
ワラビ がんばりまーす。

詳細〓学校給食センター
(☎443・4151)



大成功!!舞台「わけあり時計店」 くるる演劇講座

先月21日、文化ホールくるるで「わけあり時計店」(脚本・池端俊策さん)を上演し、成功を収めた、くるる演劇講座。出演者の一人、土居玉枝さんに本番後、お話を伺いました。



どい たまえ
土居 玉枝さん
中央3丁目・54歳

1年間にわたる、くるる演劇講座の集大成といえる舞台「わけあり時計店」。満員の観客の前で演技切り、照明が落ちた瞬間は、ほっとしたと同時に涙が出てきました。演劇は初めてでしたが、新たなことに挑戦したいと応募した今回の講座で、脚本家として著名な池端先生から指導を受け、更には書き下ろしの作品を演じられたのは幸せなこ



上演後、池端さん(前列中央)を囲む出演者

とでした。先生がおっしゃっていた自然なふるまいでの演技は難しかったですが、それでも他の受講生たちと意見を交わし、工夫を重ねてきました。そして今日ここに、1年間ともに励んできた仲間たちと舞台を作りあげることができて、ほんとうによかったです。これも池端先生をはじめ、支えてくれた関係者の皆さんのおかげだと思います。すてきな時間を過ごせたことを感謝するとともに、また皆さんといっしょに演劇がしたいです。



くるるで上演(12月21日)



困ったときは助け合おう 子どもクラブ

北小学校

「募金のご協力をお願いします」と呼びかける子どもたち。12月4日から11日まで、北小学校では、小学6年生10人の発案でフイリピン台風救援金の募金活動が行われました。初めはなかなか集まらなかった募金も、毎朝の活動と校内放送の呼びかけで募金箱の底が抜けるほどに。「低学年の子がお小遣いから募金してくれたよ」、「困っている人たちを助けたい」と、心のこもった募金を通して善意の輪が広がりました。集まった3万5660円は、日本赤十字社埼玉県支部を通じて現地に送金する予定です。

「寂しがりやな貴博は少しの間でも私たちが視界からいなくなると、すぐに家中をはいはいで探し回るんです。家族が見つかったときには、満面の笑顔を見せてくれます。そのときに出来るえくぼが私とそっくりなんです」

よ。それを見ると、親子なんだなと嬉しく感じますね。そんな貴博の名前には私と同じ「貴」と、博識の「博」を付けました。その名前のように、視野を広く持って、たくさんのかことを学んでほしいですね」と、父親の貴史さん。



たかひろ
貴博ちゃん
(10か月)

ちだ たかふみ
千田 貴史さん
みどり
美登里さんの
長男
中央7丁目

わが家のアイドル

—501—

亭主を長生きさせる10箇条
今や平均寿命は80歳を超え、長寿国となりましたが約30年前ハーバード大学のジーン・メイヤー教授が唱えた逆説のメッ



かるた DE ヘルスケア



蕨市立病院
柴田 優子 医師

セージ、亭主を早死にさせる10箇条。①うんと太らせる、②酒を勧め砂糖や菓子をとくさん食べさせる、③いつも座らせておく、④脂っこい食べ物をつたらく食べさせる、⑤塩辛い料理に慣れさせる、⑥砂糖の入ったコーヒーをがぶ飲みさせる、⑦喫煙を勧める、⑧夜更かしさせる、⑨休暇旅行に行かせない、⑩終始文句を言っていない。その逆が長生きさせる10箇条となりますね。柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を

輝いています

ひと

英語講師

かわ きた とも こ
川北 智子 さん

英語で豊かなつながりを



本場仕込みの英語力で指導

滑

らかな英語と楽しげな笑い声が響き渡る公民館の一室。生徒に英語を指導するのは川北智子さん（43歳・中央2丁目）です。市内外の公民館などで、英語によるコミュニケーションの魅力を地域に伝えていきます。

小さい頃から父親とのドライブで流れるオールディーズの曲を耳にしていた川北さん。その影響で、物心つく頃には英語や外国への興味を抱いていました。中学生のときには、英語の先生を通じて知り合った同年代のアメリカ人の女の子と文通を開始。しだいに興味は憧れへと変わりました。

そんな川北さんは高校卒業後、海外留学を決心し、アメリ

カの大学へと入学しました。初めは言葉の壁に苦しみましたが、ホストファミリーや友人とのコミュニケーションを積極的に行い、しだいに発音時の舌の動きや言葉の細かなニュアンスの使い分けができるように。また、授業ではボイストレーニングなどを通じて、歌うことでも英語力を磨きました。卒業後、日本で英語教室に就職。出産を機に現場から離れたが、「子育て中でも英語を教えたい」と、公民館の教室で講師を務めると、「発音がネイティブのよう。日本語も使って指導してくれるから、緊張しないで楽しく学べる」と、評判が広がり、乳幼児向けのクラブなどに講師として招かれるようになりました。

10年間で1000人以上の生徒に教えてきた川北さん。昨年からは「より多くの人に教え、まちの文化向上に貢献したい」と、地域で学習の輪を広げる活動をしているわらび学びあいカレッジの講座で指導。ポップスを歌いながら英語に親しめる授業が好評です。

「英語なら、世界各国に友人の輪が広がります。可能性は無限大ですね」と、つながりのすばらしさとともに英語の魅力を伝えている川北さんです。

紹介します！ 皆さんの市民活動

キラリ!! みんなの力

～蔵手話サークル～

メッセージ



ばん み よ
坂 美代 会長

互いに理解し広げたい
手話を通じた交流の輪

私たち蔵手話サークルは、聴覚障がい者の皆さんといっしょに、手話の学習を通して、お互いの文化を理解し合い、交流しながら活動しているボランティア団体です。昭和52年に発足し、現在、小学生から70代までの50人が在籍しています。

毎週2か所で開催している例会（①中央公民館Ⅱ木曜日午後7時～9時 ②東公民館Ⅱ土曜日午前10時～正午）では、手

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎45・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。

話の学習のほか、会員どうしの情報交換などを行っています。こうした活動を通じて、聴覚障がい者の皆さんの生活向上に向けた普及にも取り組んでいます。平成24年には、蔵市聴覚障害者協会の皆さんとともに、蔵市にお願ひして、いざというときでも、耳が聞こえないことや手話を使えることがひと目で分かる、災害時用のパンダナを作製していただきました（右写真）。

このように、私たちは聴覚障がい者の皆さんとともに、安心して暮らせる社会を目指して活動していますので、ご入会希望のかたは、中央公民館（☎432・2530）までご連絡ください。



「アイラブユー」の手話とともに